

令和5年度 第11回へきなん市民環境会議定例会 会議録

と き 令和6年2月1日(木)

午後7時～午後8時40分

ところ 碧南市役所談話室2, 3

司 会 高田

○出席者 12名

○欠席者 3名

1 全体協議

(1) 碧南きづなあぐについて【場所；明石公園 令和6年3/10(日)9:00～予定】

テント1張分借用、3ブース出展【環境宣言、食品ロス、地球温暖化防止啓発】

ブース使用料金 7,800円【長机5本、椅子8脚】

パソコン【事務局用意(リモートワーク用)】モニター【角谷準備】

- ・きづなあぐTシャツについて特に全員でそろえる必要はないのでは？
- ・Tシャツについて、へきなん市民会議のメンバーで揃えて着用する必要はない。
- ・参加者全員へきなん市民環境会議のベストを着用する。
- ・関係者駐車場は遠すぎるので明石公園の駐車場は利用できないのか？
- ・基本的に明石公園の利用者が駐車する場所なので、きづなあぐ関係者はアイシンの関係者駐車場でお願いしたい。
- ・機材など運ぶのに大変なことが予想されるが、乗り合わせ等で対応すればよいと考える。次回の会議で話し合えばよい。
- ・弁当は自前で用意。キッチンカーの出店や明石公園内にも軽食自販機等はあるので個人で対応する。
- ・【参加人数把握について】竹原、角谷、高田、岩戸、杉浦捨、中根、須田、鈴木恵(PM参加)、現在8人参加。
- ・参加できる会議委員は出来る限り参加して頂きたい。
- ・へきなん市民環境会議の啓発物品(アルコールスプレー、ポケットティッシュ、ボールペン)を配布し活動する。

(2) 来年度以降の油ヶ淵水環境モニタリングについて

- ・ 1月19日（金）に西尾市役所で開催された油ヶ淵モニタリング報告・意見交換会で話し合った結果、来年度以降もモニタリング調査は継続する事となった。
- ・ 県（水大気環境課）の意見と県知立建設事務所からの意見とのすりあわせができていないため、2/6 県知立建設事務所で10時から打合せ会がある。（今後どのような対策を講じていくか？市民環境会議からの要望に対する回答など（田中、竹原、角谷が出席）
- ・ 交流会では安城市の人達の意見もあったが安城市側の採水地点は階段があり比較的安全に行えるとの事であった。
- ・ 来年度からの調査項目について亜硝酸値については調査項目から外す。
- ・ CODについては、ほとんどが低濃度パックテストを使用しているため高濃度パックテストは不要ではないかと議論されたが、配布するパックテストの数を調節することで対応することになり高濃度 COD パックテストについては引き続き配布する事となった。
- ・ 水温計の水銀やアルコールが切れることで水温計の交換を頻繁に行っていたが、水温を70℃～80℃の温水に入れて垂直にしておくで回復する。
- ・ 急激な水温変化や運搬時の衝撃などで水温計の赤い部分（アルコール温度計）や銀色の部分（水銀温度計）が切れてしまう事があるが10℃以下（冷蔵庫に入れた水）もしくは70℃～80℃ほどの温水に入れ、ゆっくり常温に戻すと切れたアルコールや水銀が繋がり使用できるようになる。熱湯や氷点下以下にすることは割れる危険性があるので厳禁。

(3) 令和6年度油ヶ淵水環境モニタリング上半期担当について

	4/7(日)	5/5(日)	6/9(日)	7/7(日)	8/4(日)	9/8(日)
1	竹原	高田	角谷	竹原	竹原	角谷
2	中根	中根	中根	角谷	杉浦捨	高田
3	加藤	加藤	加藤	高田	鈴木恵	杉浦捨
4	鈴木恵	鈴木恵	須田	杉浦捨	岩戸	岩戸
5	須田	須田	岩戸	菅原	菅原	菅原

(4) 令和6年度 植木市について

【令和6年5月11日（土）10:00～14:00】

- ・前回の会議で報告して以来、なにも進捗情報はない
- ・植木市についての会議に出席後報告する。

2 その他

(1) 油ヶ淵水環境モニタリングについて【令和6年3/3(日)9:00 鷺塚公民館】

担当：高田、杉浦捨、菅原、須田、加藤、※岩戸

- ・3月10日(日)がきずなあぐイベント日なので3日(日)に行く。
- ・3月9日の土曜は人が集まらない事と自然観察会があるのでモニタリング調査は出来ない。
- ・菅原、杉浦捨が出席できない場合、岩戸が代理で出席。
- ・3月度モニタリング調査の調整は竹原が行う。

(2) ボランティア保険について

- ・3月中に申し込みしたいので次回のミーティングまでに保険に入るか入らないかの報告を竹原にして欲しい。
- ・自分で保険に入っている人や他の加入団体がボランティア保険に入っている場合必要ないので竹原に連絡。

(3) 自然観察会～IN名古屋農業センターについて

【令和6年3/9（土）8:30～15:00頃】

日時：令和6年3月9（土）

場所：名古屋農業センターDera ファーム

- ・参加者募集期間：2月5日(月)～2月29日(木)
- ・定員15名（先着順）
- ・周りの人への周知と会議委員ご本人もぜひ参加して欲しい。

(4) 「ワーク・ライフ・バランス」共働き世代の育児問題についての男女共同参画フォーラムについて

- ・令和6年2月4日（日）に碧南市役所会議室4で開催します。参加ご希望の方は事前申し込みして頂ければ有難い。

- ・子育て世代の方の体験談などをもとに講師を招き、色々な世代の意見を出し合い仕事と家庭の両立について話し合いをするフォーラム。
- ・参加希望の方や興味のある方は須田まで

(5) 碧南市のゴミ出し問題について

- ・可燃ごみの集積場所には近所の人でない人や全く知らない人でも置くことが出来る。そのような人たちが捨てるゴミの中には瓶や缶、ペットボトルなどの不燃ごみが含まれることも多く碧南市の指定袋ではない場合も多くみられる。ごみ減量係に相談したところ、注意書をラミネートしてくれてそれを黄色ゴミネットに張り付けることで現時点で不法投棄を防げている。もしそのようなゴミ出し問題で困っているのであればごみ減量係に相談してみるとよい。

(6) 石川県での地震があり災害について考えさせられた事について

- ・避難所が明確に記載されている分かりやすい防災マップがない。
- ・町内会で話し合っただけで防災マップを地区で作成するととても役に立つことが多いと考えられるが現状町内会などで話し合う機会もそのような地区に特化した防災マップもない。
- ・防災課に行けば防災マップ、ハザードマップを頂けるとのことだが、いざという時のために分かりやすく各地区に特化した防災マップを作成し、すべての市民に対しそれぞれの地区の状況を踏まえた新しい情報に更新したマップを毎年配布してもらえようようにしてもらいたいところではある。
- ・液状化が避けられない地区などの避難所は登録から外されたと聞いたが、どこに行けば避難できるのか？どこにいけば安全かという情報が市民まで明確に伝わっていない事が後々大きな問題になってしまわないかという不安がある。
- ・水が自由に使えないということで、災害に遭えばトイレの問題が数多く出ているという情報がでている。一度、自分で災害を想定し簡易トイレなどを使用し体験してみることが大事。
- ・水も使用できないし掃除も出来ない。排泄物を薬剤で固めて廃棄処分することになるが一度体験しておけばいざという時に必ず役に立つ。

(6) イベントきずなあぐでの食品ロス啓発について

- ・食品ロスの啓発についての資料を公開する。
- ・資料の内容について質問事項はあるか？
※質問事項は無し。
- ・参加者に説明する内容について意見があれば角谷まで
- ・へきなん市民環境会議が行っているイベントなど説明不足事項や他に市民に伝えたいことがあれば内容の変更できるので角谷まで相談して欲しい。

次回開催 令和6年3月7日（木）

碧南市役所談話室2、3